

平成 29 年度 学校評価実施報告書一

幼稚園名（明徳幼稚園）

<p>1 幼児が主体的に遊ぶ姿を重視する 保育の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが主体的にかかわり、遊び込む姿が見られる保育を目指し、子どもの心が動く瞬間や変容を捉え、その変化にかかわる環境、援助などを研究保育やエピソードから検証し、日々の生活の環境や援助を見直していく。 学びに向かう力の視点でも子どもたちの姿を分析していく。 <p>(取組結果を検証する) 各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 園内研究での事例検討、週案の評価・反省により子どもの姿から教師の援助や環境構成を見直し保育にフィードバックする。 アンケート項目「子どもは喜んで幼稚園に通っていますか」「子どもは自分から遊びを見つけて夢中になって遊んでいますか」 <p>各種指標結果（1回目）</p> <p>週案の反省・評価・園内研究会</p> <p>アンケート結果…「子どもは喜んで幼稚園に通っていますか」については「そう思う」「大体そう思う」を合わせて 100%、「子どもは自分から遊びを見つけて夢中になって遊んでいますか」については「そう思う」「大体そう思う」を合わせて 98.2%</p>			
自己評価	<p>分析（成果と課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> 園内研究では、事例研究及び研究保育により子どもの姿を分析しながら、環境構成や教師の援助について具体的に研究できた。 アンケート結果は良好であった。 <p>分析を踏まえた取組の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 遊びの姿をさらに視点を明確にしてとらえていきたい。 日頃より環境構成を見直すことによりその時々の課題を明確にして、より主体的に遊べるよう、また遊び込めるように考えていきたい。 		
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての子どもたちが喜んで幼稚園に通っていることは喜ばしいことである。 		
	<table border="1"> <tr> <td>評価日 10月 24日</td><td>評価者 学校運営協議会</td></tr> </table>	評価日 10月 24日	評価者 学校運営協議会
評価日 10月 24日	評価者 学校運営協議会		
<p>各種指標結果（2回目）</p> <ul style="list-style-type: none"> 週案の反省・評価、園内研究会 アンケート項目「子どもは自分からやりたい遊びを見つけて夢中になって遊んでいますか。」「幼稚園でいきいきと遊び、豊かな経験・体験ができていますか」「そう思う」「大体そう思う」と合わせて 100% であった。 			
自己評価	<p>分析（成果と課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート項目については、良好な結果であった。 園内研究会以外の機会にも、日常的に子どもの姿を伝え合い、情報交流したり、環境を見直したりすることができた。 		

	<p>分析を踏まえた取組の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も日頃の情報交換・共有を有効にしていきたい。 ・週案の評価が、カリキュラムに反映してより多角的に見直せるようにしていく必要がある。 		
学校 関 係 者 評 価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育を幼稚園での子どもの姿から、保護者の方も理解しているのではないか。引き続き保育の充実に努めてほしい。 		
	<table border="1"> <tr> <td>評価日 平成 30 年 3 月 8 日</td> <td>評価者 学校運営協議会</td> </tr> </table>	評価日 平成 30 年 3 月 8 日	評価者 学校運営協議会
評価日 平成 30 年 3 月 8 日	評価者 学校運営協議会		

	<p>2 小学校への学びにつなぐ「学びに向かう力」を育む 幼小接続の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園での遊びや生活で、子どもたちがどのように心を動かし、学びとっているのかを日々捉えて記録をし、園内研究の中で考察していく。また、子どもたちの学びがどのようなものなのかを、『学びに向かう力』『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』の視点で考察していく。また、研究したことをもとに、子どもたちの学びにつながる保育内容を考え、実践していく。 <p>(取組結果を検証する) 各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流の年間計画の立案、小学校と打ち合わせの内容。 ・小学校への研究保育の案内。 ・読書ノート「親子で絵本！」の活用度を定期的に点検及び把握。 ・アンケート項目「読書ノート“親子で絵本”は活用できているでしょうか？」 <p>各種指標結果（1回目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流の計画は昨年並みであるが、小学校の授業参観にも積極的に参加できた。保幼小連絡会に参加予定。 ・アンケート読書ノート“親子で絵本”は活用できているでしょうか」については、「そう思う」「大体そう思う」を合わせて 67.3%、「あまりそう思わない」「そう思わない」が 32.8%。
自己 評 価	<p>分析（成果と課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の参観、自由参観等に参加し、低学年の担任と子どもの姿を伝える機会が少しもった。 ・親子読書ノートは保護者が書くことに負担感があることなどが考えられる。 <p>分析を踏まえた取組の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子読書については、その意義、取り組み方について保護者にも理解してもらえるよう努力する必要がある。 ・小学校とは子どもの姿を共有したり、幼稚園教育についての理解を深めたりしてもらえる機会をつくりたいと考えている。
学校 関 係 者	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校との連携が大切だと感じている。 ・読書の習慣は、幼稚園から大切にしていただきたい。取り組みがしっかりと根付くことを願う。

評価	評価日 10月24日	評価者 学校運営協議会
各種指標結果（2回目）		
<ul style="list-style-type: none"> ・保幼小連絡会に参加 ・小学校の研究授業、授業参観を参観 ・幼小交流の実施 ・幼小連絡会の実施 ・アンケート 「読書ノート『親子で絵本』の活用はできていますか。」「そう思う」「大体そう思う」は合わせて67.5%、「そう思わない」「あまりそう思わない」は32.5%という結果であった。 		
自己評価	<p>分析（成果と課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保幼小連絡会に参加できた。 ・小学校の研究授業、授業参観などの機会を有効に活用してきた。 ・幼小交流で子どもたちの育ちを見ることができた。互いに交流したときの幼小の子どもの様子を話すことができた。 ・幼小連絡会で就学する子どもの情報共有できた。 ・アンケート「読書ノート『親子で絵本』の活用はできていますか。」については、3割以上が有効に活用できていない。 	
<p>分析を踏まえた取組の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼小の連絡会や参観等は積極的に参加できた。 ・読書ノート『親子で絵本』の活用については、その意義についてより広く、確実に伝えていくことが必要である。次年度は年度当初よりしっかりと伝えていきたい。 ・幼稚園教育について小学校と連携する中で「学びに向かう力」という視点でも伝えていけるようにしたい。 		
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校との連携は、進めていってほしい。 ・読書ノートは保護者により活用してもらえるよう働きかけてほしい。
	評価日 平成30年3月8日	評価者 学校運営協議会

3 自ら体を動かす意欲を育て、基本的な生活習慣を形成し、自信と自立心を育む

心と体・生活習慣

- ・子どもたちが心も身体も健康に過ごし、体を動かして遊ぶ楽しさを感じられるような保育計画をする。
- ・幼稚園の生活が分かり、1つ1つ自分の力で最後まで行えるような見守りや援助をしていく。

<p>(取組結果を検証する) 各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週案の中での生活習慣や運動遊びのねらい・内容・子どもの姿についての反省・評価。 ・アンケート項目「子どもは体を動かして遊ぶことが好きでしょうか」「自分の身の回りのことと自分でしようとしていますか」 		
<p>各種指標結果（1回目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週案の評価・反省で、毎週振り返る中で、運動的な遊び・生活習慣の記載 ・アンケート結果…「子どもは体を動かして遊ぶことが好きでしょうか」…「そう思う」「大体そう思う」を合わせて 98.1%、「自分の身の回りのことを自分でしようとしていますか」「そう思う」「大体そう思う」を合わせて 90.9% 		
自己評価	<p>分析（成果と課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会に向かう時期でもあり、運動的な遊びの週案への記載はある。生活習慣の記載が少ない。 ・アンケート結果はおおむね良好である。 <p>分析を踏まえた取組の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動的な遊びの計画は継続させる。運動会の体操や踊り、ルールのある運動遊びやゲーム等の継続。 ・生活習慣は家庭との連携をしっかりと図りながら取り組む。 	
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域にも公園がたくさんあり、運動することが好きな子どもが多いのではないか。 ・生活習慣は家庭でもしっかりと取り組んでもらえるように働きかけてほしい。
	評価日 10月 24日	評価者
<p>各種指標結果（2回目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週案の評価・反省で、毎週振り返る中で、運動的な遊び・生活習慣の記載 ・アンケート項目「子どもは体を動かして遊ぶことは好きですか」については、「そう思う」「大体そう思う」で 97.5%，「あまりそう思わない」は 2.5% 「子どもの生活習慣が身につくように家庭でもかかわっていますか」については「そう思う」 74.5%，「大体そう思う」 25.5% 		
自己評価	<p>分析（成果と課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもは体を動かして遊ぶことは好きですか」については、ほとんどの子どもが好きであることがわかる。1名が「あまりそう思わない」であった。 ・生活習慣ではおおむね皆が意識して関わっている。 ・インフルエンザ流行の時期には、手洗いうがいの徹底など保健指導と連動し、子どもも園と家庭で意識して取り組めたのではないかと思われる。 	

	<p>分析を踏まえた取組の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師も共に身体を動かして遊び、その楽しさと共に、運動遊びの大切さを伝えつつ取り組んでいきたい。 ・生活習慣は、家庭と連携し、時には保健指導との連動した取り組みが必要である。 ・週案での評価を、生活習慣面でもより明確にしていく必要がある。 		
学校 関係 者 評 価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恵まれた幼稚園の環境を活用し、体を動かすことを楽しめるようにしていただきたい。 ・家庭との連携を大切にし、保護者への意識付けをしっかりとしていってほしい。 		
	<table border="1"> <tr> <td>評価日 平成30年3月8日</td> <td>評価者 学校運営協議会</td> </tr> </table>	評価日 平成30年3月8日	評価者 学校運営協議会
評価日 平成30年3月8日	評価者 学校運営協議会		

4 自己発揮と自己抑制の調和のとれた自律性（折り合う心）を育む保育を推進する

信頼関係・折り合い・自己肯定感・公共心の芽生え

- ・子どもたちが思いを十分に出し、安心して生活できるよう確かな信頼関係を築いていく。また、友達とぶつかったり、葛藤したりする場面を学びの機会と捉え、大切にする。
- ・事例として記録したり、教職員で子どもたちの姿について話し合ったりしながら、子どもの心の育ちを見守っていく。

（取組結果を検証する）各種指標

- ・園内研究の事例や日頃の子どもの姿の情報共有により、子どもの心の育ちを検証する。
- ・アンケート項目「子どもはありのままの自分を出し、のびのびと過ごせていますか」「クラスや学年の友達と一緒に過ごすことを喜んでいますか」

各種指標結果（1回目）

- ・日頃より、子どもの姿の様々な場面を教職員間で共有するようにしている。
- ・アンケート結果…「子どもはありのままの自分を出し、のびのびと過ごせていますか」については「そう思う」「大体そう思う」を合わせて98.1%、「クラスや学年の友達と一緒に過ごすことを喜んでいますか」については、「そう思う」「大体そう思う」を合わせて98.2%

自己 評 価	<p>分析（成果と課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果は良好である。 ・一人一人の安心安定を図り、自己発揮するために、全教職員が個々の子どもの課題を共有しながら様々な場でかかわる必要がある。
--------------	--

分析を踏まえた取組の改善

- ・子どもたちの友達関係の中でのトラブルにおける対応をここに応じて丁寧に行いこどもたちの心の育ちにつながるようにするとともに、保護者にも必要に応じて伝え理解してもらう。
- ・子どもとの信頼関係を基盤にし、一人一人が認められ自己発揮できるよう、今後もさらに意識していくことが必要である。

学校 関係者 評価	学校関係者による意見・支援策 <ul style="list-style-type: none"> ・トラブルも発達の中では必要なことなのではないか。 ・保護者に理解してもらうことが大切である。 	
	評価日　　10月24日	評価者　学校運営協議会
各種指標結果（2回目）		
<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート「子どもは友達と一緒に過ごす中で自分の思いを伝えたり相手の思いを聞いたりしていますか」については「そう思う」50.0%、「大体そう思う」42.5%、「あまりそう思わない」7.5%となっている。 ・教職員は子ども同士のかかわりの際に相手の気持ちが感じられるように、また一人一人の心の揺れを感じながらかかわっている。その日の保育の出来事についても共有するようにしている。 		
自己 評価	分析（成果と課題） <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果はほとんどの子どもが伝え合うことができるようになっていると思われるが、3名は「あまりそう思わない」となっている。言葉の発達には個人差があるので必要な支援を図りながらかかわることが大切である。 ・園内研究会では子どもの姿を事例として、詳細に分析してきた。 ・日頃の情報交換で、子どものかかわりや実態を把握して援助の方法を検討してきた 	
	分析を踏まえた取組の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人に応じた援助をさらに研鑽していきたい。 ・自分の思いを出せる、人の思いを感じられる温かな学級経営をしていきたい。 	
学校 関係者 評価	学校関係者による意見・支援策 <ul style="list-style-type: none"> ・いろんな人と出会い、いろんな経験の中で学んでいってほしい。 	
	評価日　平成30年3月8日	評価者　学校運営協議会

園独自の項目
<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会「どんぐりーず」との連携や地域の自然を利用した行事運営をする。 ・預かり保育を充実させ、子どもたちや保護者にとっても有用になるようにするとともに、預かり保育の教育的な意義についても情報発信する。 ・未就園児子育て支援の取り組みを充実させ、地域の子育て支援センターとしての役割を果たす。
(取組結果を検証する) 各種指標

と連携した行事を楽しんでいますか。」

各種指標結果（1回目）

- ・アンケート結果…「預かり保育は子どもにとって 有意義だと思う」については「そう思う」「大体そう思う」を合わせて 95.8%、「学校運営協議会や地域と連携した行事を楽しんでいますか。」については「そう思う」「大体そう思う」を合わせて 94.6%。
- ・子育て支援は、3歳児の登録者は昨年より増加。0～2歳児について減少。

自己評価

- 分析（成果と課題）
- ・アンケート結果は良好。
 - ・子育て支援のひよこ組は、昨年度後半から取り組んだことの効果か。たまご組については課題がある。

分析を踏まえた取組の改善

- ・アンケートは良好であったが、学校運営協議会「どんぐりーず」や地域との連携では、保護者に見えにくい部分がある。手伝いに負担を感じている保護者が少数ではあるががあった。意義を伝えていく必要がある。
- ・たまご組については取り組みについて多面的に検討する必要がある。
- ・預かり保育は情報公開の点で課題が残る。内容を保護者に伝える必要がある。

学校関係者評価

- 学校関係者による意見・支援策
- ・今は働く母親が増えているので、いろんな面で大変であると思う。
 - ・子育て支援でも何か力になればいいと思う。一緒に考えていきたい。

評価日

10月24日

評価者 学校運営協議会

各種指標結果（2回目）

- ・アンケート結果…「預かり保育は保護者の支援や子どもにとって安心安全な遊び場になっていますか。」については「そう思う」96.2%と「大体そう思う」を合わせると 100%、「学校運営協議会や地域と連携した行事を楽しんでいますか。」については「そう思う」「大体そう思う」を合わせて 100%。
- ・子育て支援は、3歳児の登録者は現段階では次年度は今年度より減少。

自己評価

- 分析（成果と課題）
- ・アンケート結果は良好。特に運営協議会「どんぐりーず」の幼稚園とのかかわりについては理解が深まったと思える。
 - ・子育て支援は、昨年度より回数やボランティアを増やしたが、ボランティアの獲得、実施回数の調整に苦慮する。

	<p>分析を踏まえた取組の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営協議会「どんぐりーず」のさらなる活用を目指したい。 ・未就園児子育て支援で、幼稚園教育の大切さを未就園児の保護者により周知していく努力が必要。そのための方策はまだまだ検討しなくてはならない。 ・預かり保育の内容はホームページアップによる発信が必要である。 		
学校 関 係 者 評 価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営協議会「どんぐりーず」でできることがあれば協力するが、PTAがどれだけ動けるかも考えてほしい。 ・預かり保育を利用し働く保護者が増えている現状は昔と時代が変わっている。 ・情報発信を頑張ってほしい。 		
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="padding: 5px;">評価日 平成 30 年 3 月 8 日</td> <td style="padding: 5px;">評価者 学校運営協議会</td> </tr> </table>	評価日 平成 30 年 3 月 8 日	評価者 学校運営協議会
評価日 平成 30 年 3 月 8 日	評価者 学校運営協議会		